

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 スポーツ施設整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 スポーツ施設係 電話番号：058-272-1111 (内 2945)

E-mail: c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,318,030 千円 (前年度予算額：722,995 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支 出 金	分 担 金 負 担 金	使用料 手 数 料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	722,995	0	0	0	295	0	0	554,700	168,000
要求額	1,318,030	0	0	0	0	0	0	0	1,318,030
決定額	762,743	0	0	0	0	0	0	646,000	116,743

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県有スポーツ施設は県内スポーツの先導的な役割を果たす中核施設であるが、老朽化が進行しており、また、競技施設基準の改正、バリアフリーやユニバーサルデザインに対応した改修が必要となっている。

大規模大会が開催できる高水準の施設を維持することに加え、年齢や障がいの有無、性別や国籍にかかわらず安全・安心にスポーツ施設を利用できるよう、長期的な目線で効果的な維持管理を行う。

(2) 事業内容

【工事】

岐阜メモリアルセンター	照明設備改修工事 (LED) 等
長良川スポーツプラザ	空調調和設備改修工事 等
岐阜アリーナ	高圧受変電設備改修工事 等
グリーンスタジアム	外壁改修工事 等
川辺漕艇場	外壁改修工事 等
クリスタルパーク恵那スケート場	照明設備改修工事 (LED) 等
御嶽濁河高地トレーニングセンター	舗装改修工事 等

【委託】

岐阜メモリアルセンター	トイレ改修設計業務 等
御嶽濁河高地トレーニングセンター	外壁改修設計業務 等

【備品】

岐阜メモリアルセンター	バスケットゴール 等
岐阜アリーナ	フットサル用ゴール
グリーンスタジアム	A E D
クリスタルパーク恵那スケート場	A E D
御嶽濁河高地トレーニングセンター	電気給湯器 等
岐阜県スポーツ科学センター	自動車

(3) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	1,179,430	各県有スポーツ施設の改修工事
委託料	93,214	各県有スポーツ施設の設計委託等
事務費等	7,759	工事事務費等
備品購入費	36,501	各県有スポーツ施設の備品購入
需用費	1,126	各県有スポーツ施設の消耗品購入
合計	1,318,030	

決定額の考え方

優先順位等を精査して、所要額を計上します。

岐阜メモリアルセンター（長良川球技場を除く）改修等については都市公園の事業費の中で、その他の施設のユニバーサルデザインに対応した改修については管財課の事業費の中で対応することとし、財源については、県債を活用することとします。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

清流の国ぎふスポーツ推進計画

事業評価調査書

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

主要施設である岐阜メモリアルセンターは建築後31年が経過し、また、最も古い岐阜アリーナは55年が経過するなど、各施設の老朽化が進行している。

そのため、長期的な目線で安全・安心なスポーツ施設の利用のため効果的な修繕や更新を行っていく。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>(前々年度末時点)</small>	目 標	達成率
	(H)	(H) (H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H) (H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

施設の修繕にかかる計画策定のため指標を設定することができない。

(前年度の取組)

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

岐阜メモリアルセンター：補助競技場照明設備改修工事 等

長良川スポーツプラザ：避難誘導設備更新工事 等

岐阜アリーナ：防火シャッター改修工事 等

岐阜県グリーンスタジアム：附属棟建設工事 等

岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場：計時機器更新工事 等

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

各設備の改修や更新により安全・安心なスポーツ施設を維持することができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	各県有スポーツ施設は老朽化が進行しており、安全・安心な施設の維持のためには修繕が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	老朽化の進行が著しいが、特に必要を求められるものから、優先的に対応している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	計画的な事業の実施により、効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設の種類の膨大かつ多種（野球場などの運動施設、遊具など公園施設、建築物外壁、消防設備等）にわたるため、改修時期の判断等の見極めが難しい。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も継続して施設の改修・更新を行い、適切な維持管理を行う。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	—
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	—